



## 第14回 奥 克彦メモリアルカップ プログラム





# 第14回 奥 克彦メモリアルカップ スケジュール

1 日時 令和 7年12月13日(土) 9:00 ~ 15:30

会場 兵庫県立伊丹高校グラウンド

小雨決行、中止の場合は7時00分に各スクールに連絡いたします。

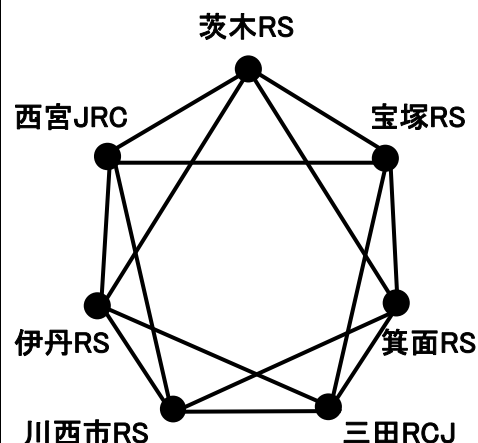
## 2 招待チーム

【中学生】 伊丹ラグビースクール 茨木ラグビースクール  
川西市ラグビースクール 三田ラグビークラブジュニア  
宝塚ラグビースクール 西宮ジュニアラグビークラブ  
箕面ラグビースクール

## 3 プログラム 試合時間は20分 試合間のインターバル時間は2分で設定しています

時間	9:00	開会式【式は10分程度で終わり 9:20まで試合前練習】		
		【新チーム(1, 2年)での試合とさせていただきます】		レフリー
9:20	茨木RS	vs	宝塚RS	川西市RS
9:42	箕面RS	vs	三田RCJ	西宮JRC
10:04	川西市RS	vs	伊丹RS	茨木RS
10:26	西宮JRC	vs	宝塚RS	三田RCJ
10:48	箕面RS	vs	茨木RS	伊丹RS
11:10	三田RCJ	vs	川西市RS	宝塚RS
11:32	伊丹RS	vs	西宮JRC	箕面RS
11:54	宝塚RS	vs	箕面RS	茨木RS
12:16	三田RCJ	vs	伊丹RS	川西市RS
12:38	茨木RS	vs	西宮JRC	宝塚RS
13:00	川西市RS	vs	箕面RS	伊丹RS
13:22	宝塚RS	vs	三田RCJ	西宮JRC
13:44	伊丹RS	vs	茨木RS	箕面RS
14:06	西宮JRC	vs	川西市RS	三田RCJ
14:30	ゴールキック大会			
15:00	表彰式			

### ★試合組合せ図



4試合の勝敗にて順位を決定し、勝敗の同じ場合は、得失点差の一番大きいチームを 優勝チームとさせていただきます。

## 4 諸注意

- ①各スクールスポーツ安全保険等の加入をお願い致します。
- ②トイレは、子供たちは体育館下のトイレのみ、保護者用に緑創会館トイレを解放します。
- ③校内における交通事故、盗難、ゲーム中及びゲーム外での怪我等に関しては学校、ラグビー部は一切責任をもてません。
- ④校内は完全禁煙とします。校外の喫煙所を使用下さい。
- ⑤レフェリーは指定のチームからタッチジャッジは伊丹高校ラグビー部員が行います。
- ⑥ゲーム前のアップはグラウンドの空きスペースを使用下さい。
- ⑦ゴールキック大会は任意にプレスセットされた5個のボールに対し、チームより選出された人員5名で、5分以内にゴールキックを蹴り終え、ゴール成功数を競います。
- ⑧駐車台数に制限がありますので各スクール様 6台に制限させて頂き、カウント致します。  
6台を超えた場合は、入場をお断りする場合がありますのでルール遵守をお願い致します。

保護者会による模擬店を実施いたします 是非ご利用ください。

※伊丹高校生及びOBは皆さんの案内役を務めさせていただきますので、気軽に話しかけ下さい。

## 奥 克彦について (GGG 28回生)

昭和33年宝塚生まれ。

早稲田大学を卒業後、昭和56年に外務省に入省。英国において研修し、イラン、米国での日本大使館勤務の他、国際経済第一課長、国連政策課長などを歴任した。平成15年4月に、在英国大使館参事官としての肩書きを有したまま、イラクに長期出張。イラクの復興に向け、取り組むこととなった。

氏のイラク復興にかける強い使命感と情熱は、事件の直前まで書き続けていた『イラク便り』に如実に現れている。同年11月29日、イラクのティクリート付近で被弾し、逝去。大使に昇任。

彼はラグビーを深く愛していた。兵庫県立伊丹高校時代には全国大会出場を果たし、早稲田大学でもラグビー部に所属。留学先のオックスフォード大学では、日本人で初めてラグビー部の1軍選手となる。その後も日本ラグビー協会役員となり、日本と世界のラグビー協会の橋渡しにも尽力した。

オックスフォード大学のクラブハウスには彼の写真が「戦死者」として飾られ、オックスフォード関係者から、その45年の生涯をリスペクトされている。

## OKU MEMORIAL TROPHY (奥 記念杯)

オックスフォード大出身で神戸製鋼でもプレーしたレジ・クラークさんはこう、言った。「カツ(奥克彦さん)はワンダフルな男でした。日本とイギリスの交流の懸け橋となりました。」

カツの夢だったラグビーワールドカップ(RWC)が、日本で開催されます。奥克彦さんがRWCの日本開催を言い出し、早大ラグビー部の先輩にあたる森喜朗総理に日本招致を熱く訴えたという。

紆余曲折を経て、日本ラグビー協会の町井徹郎会長(2004年没、享年69)に伝わり、やがて会長を継いだ森さんご自身が招致活動の先頭に立つことになった。

亡くなった後も、レジ・クラークさんらが奥克彦さんを偲ぶ記念杯を続けています。

広がる国際交流の輪 松瀬 学



## 井ノ上 正盛 氏について

昭和48年宮崎県都城市生まれ。

熊本大学卒業後、1996年に外務省へ入省し、在イラク大使館三等書記官となる。

三等書記官として赴任したイラクにおいて、平成15年11月29日、奥克彦参事官とともにイラク戦争後の復興支援活動などの職務を遂行のため、車で移動中、銃撃を受けて殉職。30歳没。

同日付で、従七位に叙され、旭日双光章受章。

昨日(26日)、在イラク大の井ノ上書記官(在ヨルダン大兼任)がクウェートから陸路、到着しました。

私がクウェートからバグダッドに来たルートと少し違ったためか、時間がかかったようです。

日本人の仲間が来てくれるとなんだかホッとします。

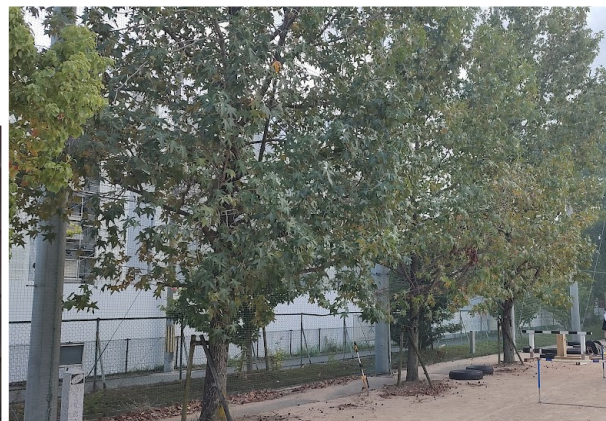
東京では、今後もORHAを通じた人的協力を続けると聞いています。心強い限りです。

奥克彦 イラク便りより

亡くなってすぐに母校の都城市・上長飯小学校の校庭に当時の校長らによって桜が植えられた。



平和の木「井ノ上桜」  
(上長飯小学校)



奥克彦記念碑と記念樹  
(伊丹高校グランド)



# Katsuhiko Oku Cup について

「スポーツを実践することは、真心と思いやり、なによりも“人間尊重の精神”を養うことであり、そのためには、“フェアプレー”の価値を高めなければならない」。

国際オリンピック委員会創設者ピエール・ド・クーベルタン卿の言葉より「尊重(respect)」する心とは、「理解」「判断」し、その「価値」を認めることである。立場の違いを理解し、その上で価値を認めることが尊重することなのである。スポーツにおいては(1)相手(2)審判(3)ルール of 3つが対象となります。

この尊重する心がスポーツマンシップであり、これらの精神に則った素晴らしい中学生のチームに対し、毎年『Katsuhiko Oku Cup』を贈呈するものと致します



## GGG (Green Great Gentleman) について

1949年創設された県立伊丹高校ラグビー部のハンドルネーム 緑ヶ丘のG(母校愛の象徴)、偉大になれのG、紳士のGでありこの3Gに紳士・淑女の気品と行動、未来に大望を託する不屈の闘志と校風発揚の願いがこめられている。

現在もユニフォームには伊丹高校の表記はなく、GGGとのみ記されている。



## 沿革

昭和23年(1948) 兵庫県立伊丹中学校と兵庫県立伊丹高等女学校の二校を統合し、共学の県立伊丹高等学校として発足

24年(1949) ラグビー部創部

チームカラーを緑ヶ丘のグリーンとし、

Green Great Gentlemanをハンドルネームとした。

36年(1961) 県大会優勝(第41回全国大会出場)

37年(1962) 県大会決勝進出(2年連続決勝進出)

40年(1965) クラブハウス竣工(現クラブハウス)

49年(1974) 第23回近畿大会出場

49年(1974) 県大会優勝(第54回全国大会出場)

53年(1978) 県大会決勝進出

平成2年(1990) 第41回近畿大会出場

13年(2001) 創立100周年記念館(緑創館)竣工

20年(2008) 菅平合宿開始

21年(2009) ラグビーカーニバル開催開始

創部60周年記念パーティー開催

22年(2010) 県大会準決勝進出

奥メモリアルカップ開催開始

24年(2012) 第63回近畿大会出場

阪神リーグ1部昇格 県大会準決勝進出

25年(2013) 阪神リーグ1部 2位

27年(2015) 英国 パブリックスクール St. Paul's Schoolと交流

28年(2016) 阪神リーグ1部昇格 県大会ベスト8

令和元年(2019) Rugby World Cup Japan 開催

創立70周年記念パーティー開催

令和5年(2023) 英・オックスフォード大学来校

県大会ベスト16

令和7年(2025) 県大会 緑台高校と合同で戦い ベスト16

第41回全国大会  
(西宮グランドにて)



第54回全国大会  
(花園ラグビー場にて)



エディ・ジョーンズ氏来校



第63回近畿大会出場  
(花園ラグビー場にて)



St. Paul's School  
との交流会(菅平)



オックスフォード大学ラグビー部との交流会



70周年パーティー



## 現在の部員(菅平合宿にて)



選手14名+マネージャー7名  
総勢21名

★県立伊丹高校OBチーム(GGG+) マスターズ花園2025に3年連続で出場  
県立伊丹ラグビー部OBチームは今年も地域のラグーマンとGGG+としてマスターズ花園に出場しました



兵庫県の兄弟チームである名門 神戸高校OBチームさんと花園第1グラウンドで対戦  
5-10で惜敗し、花園での初勝利はまたまた持ち越しとなりました。

マスターズ花園2025ではGGG 6回生の松栄 修さん(90)が  
2年連続の最年長となり、特別功労賞を受けられました。  
松栄さんの練習風景や試合風景はMBSのニュースでも取りあげられました。

**マスターズ花園2025**

2025年10月12・13日

特別功労賞

県立伊丹高等学校ラグビー部OB  
松栄 修 殿



## 県立伊丹高校ラグビー部歌

作詩 佐伯 鶯治

作曲 犬伏 清

1 緑ヶ丘に空高く  
楯円の球のおどるとき  
紅血燃えて乱舞する  
伊高ラガーの顔は  
不撓の色に映ゆるかな

2 秋校庭に霜くだき  
朔風捲いて疾駆せば  
闘魂胸にあふれきて  
盟はかたく感激の  
覇業の道をいざ行かん

3 戦の日ぞ気は勇む  
敵狂瀾に猛るとも  
わがスクラムは不壊の樽  
ラインの攻撃鮮かに  
百戦常にわれ勝たん



